

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	対象職員12人 回収率 12人(100%)	公表日		公表日	2025年3月3日	
		チェック項目	はい			いいえ
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	2		○集団を工夫して適切になるように工夫している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員が配置は適切であるか。	12			○引き継ぎ、適切な人員配置を心がけている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすい構成化された環境になっているか。また、事業所の設備は、障害の特性に応じたバリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切に行われているか。	5	7		●階段が危険になるので注意している。 ○集団で活動できるようにバリアフリーを心がけているが、重要してバリアフリーでない場所も作ることも考えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間になっているか。	12			●常に清潔で快適な空間になるように環境整備を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12			●個室も多く、十分に個別対応ができるようにしている。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	11	1		●子どもたちの様子など、成長や次への目標などに気が付けば、職員間で共有するようにしている。
	7	保護者向け研修会により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2		●アンケートは、職員全員に公開され、改善点を話し合える機会を設けている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	2		○今年度も同様、積極的に改善につなげている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	5	●昨年度は行っていたが、今年度は行っていない。自らが気づきがないことが外部の人から評定を受けることで気づいている。
	10	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会を法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	2		●社長や、児童発達支援管理責任者から有識者の研修会がある。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			●HCPで公開されている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、当該事業所サービス計画を作成しているか。	12			○定期的に更新できるように委員会などのものを活用している。
	13	当該事業所サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			○多角的な読み取りから支援計画が作成できるようにしている。
	14	当該事業所サービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			○引き継ぎ、和らげるときに支援できるように共有している。
	15	こどもの適応行動の状態を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	4	○定期的に事業所内支援会議を行っている。
	16	当該事業所サービス計画は、当該事業所サービスガイドラインの「当該事業所サービス計画の提供すべき支援」の「本人支援」、「家庭支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のいずれか及び支援内容も含まれるか。こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			○支援計画をもとに様々な視点からの子どもの読み取りを実施して支援内容を検討している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		5	○独自の教材から支援内容を立案している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		2	●子どもが興味をもたない教材、教具を提示できるようにしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適度組み合わせ当該事業所サービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	2		○子どもの読み取りに基づきその時に必要な支援を職員で考え実施している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		5	●支援開始前に行うこともあれば事前に行うこともある。チームで支援は行っている。
関係機関や保護者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	5	2	5	●気づいたことがあれば職員全員に知らせるようになっている。
	22	日々の支援に関する記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		3	●その日の活動の中で成長を感じることも気づいたことを書くことで共有し、支援に活かしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、当該事業所サービス計画の進捗の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			○基本前月に毎月ごと必ず行う。緊急発生時及び時にはそれに伴う。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、こどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	12			○正職員、パートなど積極的に参加し、会議に連携した者が参加している。
	25	地域の医療、保健（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	2		○個別支援状況に即座に連携している経験から連携はしやすい。どのスタッフでもできるようにしている。
	26	移行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、関係機関との連携、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			○教育面などから小学校、中学校から学校、特別支援学校へは連携が、保護者のニーズに寄り添いながら連携を確保できるようにしている。
	27	就学移行の際には、就学先との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	2		●保護して1年10月、対象となった子どもについてもいっている。
	28	地域の児童発達支援センターや特別支援学校の連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	9	3		●センターから助言を求められることがあり、向えた。必要に応じてセンターとは連携している。
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか。	12			○保護者の様子とのやり取りを通して子どもたちの様子も伝えていく。保護者の思い通りに寄り添えるよう働き掛けている。
	30	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	2	7	3	●忙しすぎず丁寧でない。
保護者への説明等	31	運営規程、支援プログラム、利用委員会等について丁寧な説明を行っているか。	12			●事前説明をさせていたことほとんどだが、HUGを利用して情報発信することもしている。
	32	当該事業所サービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	4	○相談支援専門員との連携を強化している。
	33	「当該事業所サービス計画」を基にした個別支援計画の策定を行い、保護者から当該事業所サービス計画の同意を得ているか。	6		6	○顔を合わせた時に確認すること徹底している。
	34	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や助言などを実施しているか。	7		5	○相談しやすい環境になれるよう努めている。
	35	父母等の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士が交流する機会を設けるなどを実施しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2		10	●状況からニーズがあれば企画していきたい。今のところ、あまりニーズがあるように感じない。
	36	こどもや保護者からの相談や申し込みに、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し込めがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			○相談事への対応は引き続きアンテナを張り出している。
	37	定期的に通信等を利用することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		3	●今年度から導入されたHUGのシステムを利用している。
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			●HUGの導入で、かなり改善されたと感じている。
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			●それぞれの家庭や子どもの状況を考え、個別に対応している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を行っているか。	2		10	●自治会に入会し、行事に参加したり、同じ建物に入っているテナントさんと仲よそでさせていただいている。
非常時の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		4	●HUGを利用して行っている。
	42	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、検出その他必要な訓練を行っているか。	12			○訓練等の報告を忘れずにしている。
	43	事前に、従業員や子供、地域住民等のこどもの状況を把握しているか。	12			○一見表や、対応マニュアルを共有したうえで要領に即応している。
	44	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づき対応がとられているか。	12			○一見表に書いてもらった指示書がわかりやすいように提示している。
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な状態で実施されているか。	10	2		安全計画にのって安全点検などを行っている。また、チェック方法を再度確認し、BCPを定期的に確認し必要なことは改善している。
	46	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	2		○HUGを使って保護者に周知している。
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方針について検討をしているか。	10		2	●新聞やニュースで見かけた情報を職員間で共有している。
	48	虐待を防止するための、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			○虐待防止、身体拘束等については、公開の研修に参加することで、委員会の開催や研修会などで職員が保護に留意できるように研修を行っている。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明したうえで、児童発達支援計画に記載しているか。	11		1	●支援計画に記載している。